

平成24年度 京都府立洛東高等学校 学校経営計画（スクールのマネジメントプラン）（計画段階） ・ 実施段階）

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>・知の沃野を切り開き、豊かな感性を身に付け、創造力に富む人間の育成に努める。</p> <p>・個人の責任と義務を尊重し、道徳性の高い行動力のある人間の育成に努める。</p> <p>・自ら学ぶ意欲を喚起し、社会の変化に対応できる能力を育成し、進路希望の実現に努める。</p> <p>・勤労とボランティア精神の資質を養い、人権を尊重し、社会の一員としての自覚と行動ができる人間の育成に努める。</p> <p>・家庭や地域社会との連携を強化し、21世紀の新生洛東高校として信頼される学校づくりに努める。</p>	<p>・家庭・地域との連携を図り、全学年の身だしなみを中心とした生活規律の確立を図る取組を継続した。次年度も基本的な生活習慣の一層の確立を目指して、地域・保護者から更に信頼が得られる学校づくりの取組を継続する。</p> <p>・学校説明会等の広報活動を継続して展開する。</p> <p>・普通科総合選択制の4コースの特色を更に活かし、大学や専門学校との連携に一層力を入れる。「宇宙と自然の科学コース」をはじめ、4つのコースの特色ある教育内容を更に充実させ、希望進路の実現を図る。</p> <p>・LD、ADHD、高機能自閉症等の生徒に対しての適切な特別支援教育を更に推進する。また、全介助生徒に対しても全教職員が一致協力し、組織的に対応する。</p> <p>・生徒の進路目標の実現に向け、授業改善と補習や学習合宿等の学力充実対策に効果的に取り組む。</p> <p>・授業改善(教育内容と指導方法の充実)を図る。併せて原留・中退をなくすように組織的指導体制の確立を進める。(類7限目基礎学力補習)</p>	<p>・身だしなみを中心とした基本的な生活習慣を確立するための指導に努める。また、1年生一学期に、高校生としての心構え、規律ある行動などを徹底して指導し、3年間の基盤をつくる。</p> <p>・「学力向上フロンティア会議」を最大限に活用し (1)各教科における授業の工夫・改善に努め、一層の教育力向上を図る。併せて、すべての授業にキャリア教育の視点を織り込み、自己実現への意欲を喚起する。 (2)3年間を見据えた学習指導、進路指導の在り方についての継続的な研修と具体的な取組を行い、進路希望の実現に努める。</p> <p>・LD、ADHD、高機能自閉症等の生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的支援を行う特別支援教育を推進する。</p> <p>・教職員の協働体制をより一層強化し、互いに学び合い支え合う職場環境づくりを推進する。</p> <p>・平成26年度(予定)から始まる単独選抜に向けて、総合選択制の良さを最大限に活かした新教育システムを確立する。</p>

分掌名	評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
/	学校運営体制	教職員組織体制を整備し、学校運営を活性化させる。	部長会議の機能と役割を充実させ、職員会議や各種会議の時間短縮及び効率化を図る。		
	広報・学校評価	広報活動を推進し、学校評価等の実施と学校改善のシステム化を図る。	学校説明会等の広報活動を継続し展開する。 自己評価及び外部評価をまとめ、次年度に向けた改善点を明確にする。		
	教職員研修	教職員研修を充実させ、資質能力の向上を図る。	「学力向上フロンティア会議」を最大限活用し、基礎学力向上に取り組み、授業改善に向けた校内研修を進める。また、特別支援教育を更に推進するため、教職員研修を継続実施する。更に、府総合教育センター等の研修参加を勧める。 各分掌(学年部を除く)主管の校内教職員研修をそれぞれ年1回以上実施し、共通理解と資質の向上につなげる。		